

尾張版



聖ヨハネ教会堂
朝日洋子
日展

ニュース、情報は下記へ
社会部
052-231-1650・5919
Eメール

shakai@chunichi.co.jp

一宮総局 〒491-0851
一宮市大江1-13-13
0586-72-4545 Fax72-5035

津島通信局
0567-28-2157 Fax28-2158

稲沢通信部
0587-32-8800 Fax23-8035

江南通信部
0587-54-4001 Fax54-9622

蟹江通信部
0567-95-3022 Fax95-3000

春日井支局
0568-81-2036 Fax81-2797

犬山通信局
0568-61-2612 Fax61-2613

小牧通信局
0568-72-1177 Fax72-6530

中日新聞へのご意見は
読者センターへ

052-221-0800 Fax221-0819

Eメール
center@chunichi.co.jp

掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ

障害者の就農 支援人材養成

江南市の一般社団法人「はーとプロジェクト」が、障害者の就農を支援するための人材「農業版ジョブコ―チ」を養成する講座を始めた。障害に配慮した作業の指示方法などをアドバイスする役割で、障害者の就農を促し、自立につなげるのが狙い。主催者は「取り組んでみたいけど一歩踏み出せない雇用側に、積極的になってもらうきっかけづくりができれば」と期待している。

(鈴木里奈)

農家が障害者を雇った者が講師役として登壇。草取りなどの軽作業を任せが作業したりする際などに役立つ知識を身に付けてもらおうと企画。農林水産省の補助金を活用して実施している。

第一回の講座は今月四、五日にあり、市内外から約十人が受講。初日は座学の講座があり、障害者を雇う農家や、福祉施設関係

江南の団体が講座 雇用側 一歩踏み出す契機に



障害者と実際に農作業に取り組む参加者たち
＝江南市宮田神明町で

就労支援事業所「Fee1」の利用者とともに、春に苗を植えるための準備として、クワの使い方などを学びながら畝を作った。ちよっとしたことでも褒めるなど声を掛け合いながら、利用者らとわきあいあいと

作業に取り組んだ。豊田市の農業生産法人「みどりの里」取締役の野中慎吾さん(左)が、初心者の参加者に向け、基本的な動作を指導。「スタッフが決まると指示できれば、大事な仕事を任せられるようになり、人の手がかかる無農薬農業などに参入できるようにもなる」と語った。

講座に参加した春日井市福祉施設支援員の河村朱里さん(右)は「障害者の方にもわかりやすいよう、指示する言葉をスタッフの中で統一すると良いと知った」などと話した。

主催するはーとプロジェクトの藤岡和俊さん(五右衛門)は「障害者が農業をしている姿を見せることで、地域の一員になっていけるのでは」と期待している。

受講料は無料。二十日、二十四日、三月五日、十二日の講座の参加者も募っている。問い合わせは「はーとプロジェクト」0587(96)6438

いのちのかけこみ寺
縁切り供養
大法寺
費用、納骨、供養、墓じまい、仏壇じまい
何でもご相談ください
0567-28-7319
愛西市稲葉町江頭10番地
樹木葬 大法寺 機業